物產寶庫目錄

冊次部数

A 00
5765

東京大学総合図書館

物産寶庫目録

凡例

一此編ハ分チテ動物、植物、鑛物、雑ノ四部ト為ス但シ動植ノ二部ハ更ニ之ヲ細別シ動物ヲ獸、鳥、魚、爬蟲、柔軟、多肢、多節ノ七類ニ分チ植物ヲ穀菽、葉菜、花菜、根菜、蓏菜、菌蕈、香辛、菓物、澱粉、畜食、清娯、各用、油蠟、纎維、製紙、染色、藥用、有毒、水草、海藻、木竹、落葉樹、常緑樹、観賞物、植雑ノ二十五類ニ分ツ而シテ西洋諸國、清國、（爪哇等合ス）小笠原島、沖縄、北海道ノ類ハ之ヲ別冊ト為シ動植等ヲ混同スト雖モ細別

No.1
A00/5765
東京帝國大學圖書
B 45222
男爵田中美津男氏寄贈
先代田中芳男男旧藏書
昭和七年
東京大学総合図書館

ヲ為サズ
一 類別ヲナスト雖モ二三種併記シタルモノハ細別シ難キヲ以テ其ノ主要ナル部ヘ編入シ数種雑記セルモノハ雑部ヘ編入ス
一 果製、菜製、肉製等ノ食品及其製法、貯蔵法ノ如キハ各其部類中ヘ編入スト雖モ二品以上ニ渉ルモノハ雑部ヘ編入ス
一 同品ニシテ用途ヲ異ニスルモノ即チ蓮、百合等ノ如キハ種類ヲ別タズシテ一部類中ニ編入ス
一 本書元来雑纂ノ稿本ナルヲ以テ美濃判半紙判混交ス今美濃、半紙ヲ甲乙二種ニ別チ其書冊ヲ仮定スル左ノ如シ

甲之部 （半紙判）

一 獣鳥、爬虫、柔軟、多肢、多節類 一冊
一 魚類 一冊
一 動物ニ関スル雑件 一冊
一 穀菽、葉菜、花菜、根菜、蓏菜、菌蕈、 一冊
一 香辛、澱粉、畜食、清娯類 一冊
一 器用、油蠟、繊維、製紙、染色、薬用、有毒類 一冊

一 水草、海藻類 一冊

一 薬物類 一冊

一 木竹類 一冊

一 落葉樹、常緑樹類 一冊

一 観賞物類 一冊

一 植物ニ関スル雑件 三冊

一 鑛物類 一冊

一 廣雑 二冊

一 小笠原島、沖縄、北海道 一冊

一 清國 一冊

一 西洋各國及印度等 二冊

乙之部 （美濃判）

一 動物類 一冊

一 木竹、製紙、纖維、油蠟、清娯、菓物、藥草類 一冊

一 植物雑件 二冊

一 目録類 二冊

一 廣雑 二冊

合二十八冊

物産寶庫甲ノ一

獸類

一 遠州中泉オホカウモリ　山高信離氏詁

三 ハタケ子ヅミ

五 鼬鼠、ムサヽビ、モヽングワノ別

七 對州山猫ノ皮　明治十一年四月

九 狼ノ説

一一 古象ノ齒　明治十一年六月

一三 水牛角　明治十四年四月

一五 一角

二 ハリ子ヅミ

四 鼠

六 ヲサキヽツ子

八 貍ノ毛球　明治十一年七月

一〇 カモシカ

一二 水牛ノ兒

一四 スナメリ

一六 鯨蕪骨　明治十四年一月

十七 消皮ノ説 明治十四年十一月
十八 薩州ヤマノカミノヲコゼ

鳥類

十九 ヅクヒキノ實況
二〇 燕子来朝 明治十二年四月
二一 燕類ノ分科
二二 イハツバメ
二三 アマツバメ
二四 ナイリン燕 明治十三年十二月 伊豆加茂郡方言
二五 ウグヒスノ名 明治十二年四月
二六 長尾鶏 明治十一年六月
二七 家鴿 明治十三年六月
二八 メダイチドリ 行德方言
二九 アカアシチドリ 行德方言
三〇 信天翁 明治十一年七月
三一 アジサシ
三二 鷗卵ノ説 明治十三年六月
三三 鷗ノ蛤ヲ食スル話 明治十一年八月
三四 猩々鷺ノ腮ヲ縦断シタル図
三五 ウミスヾメノ説 明治十二年四月
三六 カナリヤ
三七 御祈禱鳥 明治十一年八月
三八 クマズミ
三九 鵜鶘、食火鶏ノ問答 明治十一年九月
四〇 孔雀翎羽ノ用 明治十四年十一月
四一 鴉鳶鸛鵝獵ノヿ 明治十一年六月

爬蟲類

四二 赤色ノ水亀 明治十一年七月
四三 緑毛亀 明治十七年六月
四四 安房ノ蠵亀ノ話 明治十一年八月
四五 オサガメ剥製法
四六 ヤモリ
四七 スヾヘビ 明治十一年七月

東京大学総合図書館

四八	安房ノ蛇	明治十四年十一月
四九	雙頭蛇	
五〇	蛙ノ鳴カトゞムル法	
五一	サンヤウ魚孵化ノ實驗	
五二	鯢魚児	明治十一年七月
	柔軟及多肢類	
五三	天橋産千鳥賊	
五四	大村ノ鰑	明治十二年四月
五五	蛞蝓孵化ノ實驗	
五六	石决明	明治十四年十一月
五七	淡菜真珠	明治十一年六月
五八	アコヤガヒ	明治十一年五月
五九	ホタテガヒ	明治十一年十月
六〇	尾張産蚌	明治十一年九月
六一	東京日比谷門外濠池蚌	
六二	不忍池蚌	
六三	大蛤	明治十四年一月
六四	ヲノカヒ	明治十三年五月
六五	スダレガヒ	明治十三年十月
六六	ツクシガヒ	
六七	赤人手、白人手	
六八	諏訪湖産蜆小蝦ノ説	
六九	ウチムラサキ介及ミルクヒ等 武州本牧土人ノ説	
七〇	蠔山図説	
七一	珊瑚	明治十二年三月
七二	島根県石梅ノ説	明治十一年七月
七三	海絨	明治十二年三月
七四	ホッスガヒ	明治十一年九月
七五	キンヤギ 相州方言	明治十一年八月
七六	ムメボシ	明治十五年三月
七七	真崎健氏恵無名海綿属	明治十五年二月
七八	イシコ	明治十四年二月
	多節類	
七九	シバエビ、サルエビノ説	
八〇	フナクヒムシ	明治十一年九月

八一 玉蟲產所
八二 金龜子考
八三 ヌザウ又エイザウ 明治十一年八月
八四 ベツカフカメムシ 明治十年十一月
八五 松柏類ノ蠹虫 明治十一年八月
八六 紅娘子ノ竹蝨ヲ食フ話 明治十年八月
八七 ホタルバヒ 一名ホタルダマシ
八八 薔薇ニ生スル甲虫
八九 神奈川縣菜園ノ害虫 明治十年六月
九〇 蜻蜓ノ蚕虫ヲ捕食スル説 明治十年八月
九一 ヤナギムシヨラウ 明治十一年八月
九二 蚕種一枚ヨリ蕃生スル概数
九三 天蠶絲 明治十一年九月
九四 ヤマガマス 明治十一年五月
九五 樟虫
九六 蜜蜂 博物局飼養
九七 蜜蜂 明治十一年五月
九八 蜜蜂ノ嗜ム花 明治十一年七月
九九 藤井徹飼養蜜蜂 明治十三年十一月
一〇〇 蜂房ノ虚ヲ以テ蜜蝋ヲ製ス 明治十一年六月
一〇一 蟻ノ樹ヲ害スルヲ防ク法 明治十五年三月
一〇二 蟻ノ説
一〇三 馬尾蜂 明治十一年八月
一〇四 ユキムシ 明治十一年十一月
一〇五 毛茸アル叩頭虫 明治十一年八月
一〇六 葡萄害虫 明治十一年六月
一〇七 ハリガネムシ 明治十一年九月
一〇八 アシマトヒ等 明治十一年九月
一〇九 蜮志拔萃
一一〇 蟲螽斯科及螽斯科ノ答 明治十一年九月
一一一 蠹虫類ノ写真 明治十一年九月
一一二 クヒキリムシ 明治十一年七月
一一三 遊葉虫 明治十一年九月
一一四 樟木ノ水虫ニ蠹蝕セラルヽ説 明治十一年十月
一一五 アブラムシ 一名アリマキ 明治十一年九月
一一六 飛蝗脱皮ノ実況
一一七 タヒノムシ 明治十一年一月
一一八 ウミヒル
一一九 ザヾムシ 明治十八年四月
一二〇 蠑蜘蛛等ニ付質問ノ答 明治十一年九月

東京大学総合図書館

一二一 螻蛄鳴非蚯蚓鳴説

一二二 蟑皮虫ノ説 明治十二年六月

一二三 蠹白蟑ノ説 明治十二年三月

一二四 獸皮ニ虫ノ附クヲ防ク法

一二五 蝲蛄石 明治十四年一月

一二六 蟹ノ塩辛 明治十二年二月

物産寶庫甲ノ二

魚類

一二七 水戸那珂河産鱸ノ説

一二八 テンヂクダヒ

一二九 キントキダヒ

一三〇 キンメダイ

一三一 スミヤキ

一三二 マムダイ

一三三 アカアンカウ

一三四 薩摩ニ金鎗魚三種アル話 明治十二年四月

一三五 シブ

一三六 トラキス

一三七 テカミハゼ

一三八 イナダ

一三九 メバル

一四〇 クロメバル

一四一 タケノコメバル

一四二 鰡魚 明治十二年八月

一四三 鰡魚ノ薩名
一四四 メナダ
一四五 マルカ 明治十二年四月
一四六 ミノウヲ 明治十一年七月
一四七 クロヱソ
一四八 サツパ
一四九 ウワヱソ
一五〇 ヒメジ
一五一 ムツゴラウ、ウラスボノ説 明治十一年十二月
一五二 ハリゴチ
一五三 シマウオ
一五四 イトヒキウオ
一五五 タユラ
一五六 ホタルウヲ
一五七 イタチウヲ
一五八 トキクイ
一五九 子ギ
一六〇 邉良 一名クサビ
一六一 キラザコ
一六二 カジトウシ
一六三 チビキウオ
一六四 波多々天 一名ボリサシ
一六五 伊知也字魚
一六六 保多 一名ホタキ
一六七 カヽ子
一六八 安伊加々利 又アユカケ
一六九 也波幾
一七〇 ヲキノジヨウ
一七一 玉川ノ石伏魚ノ説 明治十一年八月
一七二 カジカ 石伏魚図説
一七三 最上川産鮭魚ノ説
一七四 三面川鮭魚ノ説
一七五 三面川鮭魚種川採收
一七六 越後ノ鮭魚
一七七 鮭鱒嘉魚香魚ノ羅甸名 明治十三年十一月
一七八 琵琶湖鱒ノ話 明治十一年八月
一七九 マス
一八〇 モガヅノコ
一八一 房州ニ鯉ヲ移セル話 明治十一年八月
一八二 病鯉ノ治療及原因

東京大学総合図書館

一八三 駿河狩野川ノ鮭 明治十一年十月
一八四 凸眼金魚 明治十一年十一月
一八五 鮎釣
一八六 ヒウヲ
一八七 アユ
一八八 トヂヨウ
一八九 泥鰌ノ悪水ニ堪ル説 明治十一年十月
一九〇 メクラウナギ、コソノ説 明治十二年七月
一九一 ダイナンアナゴ
一九二 ダイナンギンポ
一九三 アカナマダ
一九四 ヤツメウナギ
一九五 鱠残魚 明治十三年九月
一九六 シラスボシ
一九七 鰛魚
一九八 コノシロ
一九九 都奈之考
二〇〇 トビノウヲ
二〇一 コロビキウヲ 明治十四年二月
二〇二 アカマンボウ
二〇三 マンボウ
二〇四 ウミスズメ 海牛
二〇五 ヲキヲコゼ
二〇六 ヒナハギ
二〇七 ヨシキリサメ
二〇八 トクサズメ 明治十一年六月
二〇九 カグラザメ
二一〇 カスザメ
二一一 ホシザメ
二一二 アヲザメ
二一三 子コザメ
二一四 サメノマモリノ、サメノキンチヤク 明治十二年二月
二一五 サメノタスキ 明治十五年六月
二一六 コンガウフグ
二一七 河豚皮 明治十一年九月
二一八 讀賣新聞掲載河豚ノ説
二一九 アカヱヒ
二二〇 鯊魚
二二一 ザウブカ
二二二 鰻鱇ノ説 明治十一年十月

二三 ニトリ、センジノ名及説 明治十三年十月
二四 アイケウ 明治十四年一月
二五 イカナゴ醤油
二六 タヽキ 一名ヤキゞリ 明治十三年十二月
二七 筑後久留米ワラスボ

物産寶庫甲ノ三

動物雑部

二八 鳥獣ノ名 鷹 諸鳥獣
二九 府内外近傍ヘ来ル鳥類
三〇 長崎縣下動物ノ説 明治 年
三一 鳥獣類剥製大略
三二 房総記話 明治十一年八月
三三 カヽミ魚、ミシマヲコゼ、テイス等拔萃
三四 四谷内藤新宿御苑ニ於テ御飼養ノ動物類
三五 伊豆相模ヨリ持来ル物品 明治十四年九月
三六 動物ノ各地ニ因テ有無アル事及移殖セシ話 明治十一年七月
三七 海獱等ニ有田鎮綱紀ヘ答
三八 海燕名列示 明治十一年七月
三九 白色紫梗脂髹法
四〇 イナ、コスリ及イナトメナダノ異ナル説
四一 美濃国佐々木佐平養魚法
四二 山口縣下巴城湊村景況
四三 九十九里鰮魚猟手続

二四四 角鉤ノ説
二四五 鮪釣縄及捕鮑具使用法
二四六 本所区花町 中笠原千之助 釣鉤・釣竿・釣道具等ノ評
二四七 北越地方鮭卵採集実験ノ復命
二四八 鱒卵採集交梅ヶ運送順序概記
二四九 遠藤致鮭等ノ話
二五〇 魚鮲煤助ノ地 養魚器械 新設地所等取調ノ復命書
二五一 滋賀県坂田郡枝折村養魚場出張菊地親ヨリ書状写
二五二 十二季魚猟図説
二五三 海苔ヲ傷ル動物 日本製品図説抜冊
二五四 除虫ノ法
二五五 蜂螫毒ヲ葱白ニテ治スル法
二五六 蟲捕網ノ新製
二五七 虫蟲ヲ避ル為メ公孫樹ノ葉ヲ書中ニ挿ム
二五八 烟草ノ悪虫ヲ除去スル法
二五九 碧蘆ニテ牛馬ノ虱ヲ駆除スル法
二六〇 魚類々別
二六一 皆川氏龍骨詩
二六二 高知県下動物写生ノ目次
二六三 博物学ノ略解 動物類
二六四 蟲病 内科簡明抜萃
二六五 若水篤信本草倭名辨 動物之部
二六六 随観餘図抜萃目録 動物
二六七 武田昌次 丹波脩次 山本章夫 取調魚介写生目録
二六八 大阪ヨリ来ル魚巻ノ目録并説
二六九 木曽動物取集目録
二七〇 蟹水母亀等ノ説図
二七一 明治十四年内国博覧会出品目録 動物骨骼及剥製ノ部
二七二 天造物陳列方ニ付新聞集
二七三 製墨用阿膠

物産寶庫甲ノ四

穀菽類

二七四 一本稲實功説
二七五 竹林麥ノ説 明治十二年七月
二七六 エッタ麥ノ説
二七七 カウバウヒヱ 明治十二年四月
二七八 四國稗ノ説
二七九 菰ニ種子ヲ結ブト結バサル説
二八〇 落花生 明治十二年九月
二八一 穀菜種時一覧
二八二 穀菽菜蔬苗芽、貯種年限表

葉菜及花菜類

二八三 タグチナノ説 明治十五年一月
二八四 ヒヤクハナ 明治十二年四月

二八五 水善寺菜
二八六 ヨウサイ 明治十一年七月
二八七 甕菜ノ一二名 漢口在留大原里賢書状ノ写
二八八 山牛蒡ノ葉効用 明治十一年[illegible]月
二八九 カハチサノ説 明治十一年[illegible]月
二九〇 款冬ノ効用 明治十一年[illegible]月
二九一 筆頭菜製松ノ翠 明治十[illegible]年[illegible]月

根菜類

二九二 美濃原大根 明治十四年[illegible]月
二九三 薩州櫻島蘿蔔 駿州作
二九四 大根乾ノ説 明治十三年十一月
二九五 ノダイコンノ説
二九六 赤蕪菁ノ説 明治十[illegible]年[illegible]月
二九七 アカナガカブラノ説
二九八 イロニンジン 明治十一年十一月
二九九 牛蒡ノ葉 明治十[illegible]年[illegible]月
三〇〇 チヨウロギ
三〇一 ヤクシマイモ
三〇二 自然薯
三〇三 薯蕷ノ性質ヲ変スル説 明治十二年[illegible]月
三〇四 日本蒟蒻説
三〇五 ミヅイモノ[illegible] 明治十三年三月
三〇六 蓮ノ話 明治十[illegible]年十月
三〇七 不忍池ノ蓮藕
三〇八 蓮根 鳩ヶ谷在藤八新田産 明治十三年十一月
三〇九 サンカクビル 明治十一年十一月

蓏菜類

三一〇 テツグハン
三一一 アヲウリノ説
三一二 スヂナス 明治十[illegible]年八月
三一三 蕃茄貯藏法 明治十三年十一月

東京大学総合図書館

菌蕈類

三二四 香蕈　小石川植物園産

三二五 レイタケ　駿州産

三二六 椎茸　伊豆国産　明治十年五月

三二七 木耳及落葉松図解

三二八 エノキタケ　明治十一年十月

三二九 チヽタケ

三三〇 ボタンタケ

三三一 カナメゾツ子　明治十三年五月

三三二 ジコ及クマジコ　明治十五年二月

三三三 イハタケ　明治四年十二月

香辛類

三三四 山葵栽培説

三三五 生姜

三三六 メウガノ実説

三三七 メウガノ開花結実二箇問答

澱粉類

三三八 山薬粉　明治十二年四月

畜食類

三三九 アヲヤギノ説　明治十一年七月

三四〇 飼草作方ノ記

清娯類

三四一 皐盧ノ説　明治十四年一月

三四二 自生茶樹ノ説　明治十二年十一月

三四三 茶ノ説

三四四 三重縣自生茶ノ問及答

東京大学総合図書館

三三五 山茶ノ粗製 明治十二年十月
三三六 山邉豆考
三三七 糖蜀黍来歴形状成分等
三三八 蘆粟糖ノ説 明治十三年五月
三三九 山形縣下蜮糖
三四〇 女貞子ヲ珈琲ニ代用ノ説
三四一 茄菲ニ代用スベキ實 明治八年十二月
三四二 咖啡ニ亞クベキ新植物
三四三 茄菲ニ代用スベキレユーロヒ効用
三四四 アマチヤノキ

物產寶庫甲ノ五

各用類

三四五 桑苗仕立方ノ良否
三四六 魯桑ノ説及図 明治十四年五月
三四七 桑皮織緯ノヿ 明治十一年七月

油蠟類

三四八 蕓薹ノ件ニ付岡山縣書状
三四九 シロアブラ
三五〇 イヌガヤノ説
三五一 漆樹栽培説 明治十六年十二月
三五二 ハゼノ説
三五三 ハゼウルシ
三五四 松根油製法ノ伺
三五五 松脂ノ製法 明治十六年五月

東京大学総合図書館

三五六 樟油ノ説 明治十二年二月
三五七 ナヽエヤモンジヤ樹
三五八 タブ取調書 明治十一年十二月
三五九 タブノ説 鳴門義氏 明治十一年十一月
三六〇 タブノ一 明治十一年八月
三六一 シロダモノ実
三六二 天竺桂ニ付小倉県ヨリ回答抜萃
三六三 アブラチヤン説
三六四 イボタノ説
三六五 膽保多膏

纖維類

三六六 紫蕨綿 新聞抜萃
三六七 紫蕨綿ノ説
三六八 山苧ノ説 島根県下産 明治十一年十一月
三六九 苧麻ノ説 成島謙吉質問及ヒ答
三七〇 テンキノ説 明治十二年八月
三七一 ハマクヾ又シホクヾ
三七二 芭索 明治十三年十月
三七三 カンスヽキ 明治十二年十月
三七四 ヒトモトスヽキ 明治十二年五月
三七五 藤細工ノ件ニ付書類及近江水口藤細工ノ原質 明治十二年八月
三七六 アンペラ 上総松尾 明治十四年十一月
三七七 アンペラノ説 明治十一年五月
三七八 蒲ノ説 明治十五年一月

製紙類

三七九 諸県産出楮種類
三八〇 瑞香料抄紙料ノ説 明治十四年三月
三八一 カニガンピノ説

染色類

三八二 紫根ノ説 明治十四年四月

三八三 山藍ニテ藍澱ヲ製スル説

三八四 唐藍ノ説

三八五 製藍草木概論

三八六 木藍ノ答

三八七 茜根ノ説

三八八 茜染ノ事 明治十一年二月

薬用類

三八九 ビナニサウ 明治十五年六月

三九〇 山帰来 明治十四年五月

有毒類

三九一 ハシリドコロ

三九二 烏頭 明治十二年十二月

三九三 ドクウツギ

三九四 アセボ 明治十二年五月

三九五 榎木ニ毒アル説

三九六 榎木ニ懼ルベキ毒アル話

三九七 アセボノ件新聞抜萃

三九八 馬勃ノ區別 十二年二月

三九九 クハエンタケノ説

四〇〇 竹叢中ニ生セシ菌

四〇一 麦奴麦角ノ説 明治十一年八月

四〇二 船津傳次平麥奴ノ説 明治十四年十二月

物産寳庫甲ノ六

水草類

四三 イボクサ	四四 パチパチグサ
四五 ホシクサ　穀精草	四六 ヨツバウキクサ　蘋
四七 ウラベニウキクサ	四八 アヲウキクサ　青萍
四九 アカウキクサ　満江紅	五〇 キカシグサ
五一 イトモ	五二 イバラモ
五三 小葉イバラモ	五四 細葉イバラモ
五五 バイカモ　又　ウメバチモ	五六 タヌキモ
五七 ツルモ　カハツルモ	五八 ツルモ　一名ナガモ　明治十八年四月

番号	名	附記
四二九	クロモ	
四三〇	フラスモ	尾張
四三一	アマモ	アヂモ
四三二	アジモ	
四三三	サンセウモ	
四三四	サヽモ	
四三五	キンギヨモ	
四三六	キクモ	
四三七	キクモ	總州市川辺水田生
四三八	イトモ	眼子菜一種
四三九	シヤジクモ	
四四〇	エビモ	
四四一	ヒルムシロ	眼子菜
四四二	ヒルモ葉肉搨	猪ノ鼻池產
四四三	セキセウモ	苦草
四四四	ウリカハ	
四四五	キツ子ノオ	甲種 フサモ
四四六	キツ子ノオ	乙種 タチモ
四四七	ミヅハコベ	新称
四四八	ミヅハコベ	水馬齒莧
四四九	ミヅヲバコ	
四五〇	サンカクナ	日光方言
四五一	ミソハギモドキ	
四五二	ミヅワラビ	
四五三	ミヅユキノシタ	
四五四	ミヅマツバ	
四五五	ミヅニラ	
四五六	ヒシ	芰
四五七	小葉ヒシ	
四五八	スブタ	
四五九	スブタ一種	
四六〇	スツポンノカバミ	水鼈
四六一	水田ニ生スル一年草	

海藻類

番号	名	附記
四六二	品川苔	
四六三	十六島苔	（明治十一年五月 明治十四年三月）
四六四	アヲノリ	明治
四六五	アヲノリ、イトアヲサノ別	明治十四年三月

四五六 アマノリ外苔類
四五七 本草図譜紫苔ノ一種
四五八 サクラノリ
四五九 ユキノリ 明治十六年十二月
四六〇 ハンバノリ ハバノリ
四六一 ノゲノリ
四六二 黒海苔、水善寺海苔
四六三 アサクサノリ
四六四 シホノリ 伊豆八幡野産
四六五 シキンヂャウノリ
四六六 伊豆ノリ 明治十四年十二月
四六七 マヒサカノリ 明治十六年十二月
四六八 エノシマノリ 明治十四年十二月
四六九 カタノリ 明治十四年七月
四七〇 シャウジャウノリ 明治十四年十一月
四七一 大椙ノリ
四七二 コメノリニ似タルモノ
四七三 ウキウトノリ 明治十六年十一月
四七四 トサカノリ
四七五 オゴノリ
四七六 ワカメ、カタメ
四七七 ワカメ 南部産
四七八 東京ヘ来ル房州産ワカメ
四七九 ワカメ、ヲ、サ、ヲ、ハ
四八〇 ヒジキ
四八一 ヒジキ、ヒロハモク
四八二 ホソメ 南部 海帯
四八三 アラメ 海帯
四八四 サカラメ
四八五 コンブ
四八六 コンブ名称等
四八七 トロ、コブ 明治十三年十一月
四八八 トコロテン
四八九 イギス
四九〇 イギスコンニヤク 明治十一年七月
四九一 エゴノ製法 明治十三年十一月
四九二 ツノマタ
四九三 ヒラツノマタ
四九四 フノリ
四九五 ハチジヤウフノリ

東京大学総合図書館

四九六 石川縣下紙漉藻 明治十二年一月
四九七 モヅク
四九八 フトモヅク
四九九 ウミマツ 石帆
五〇〇 ミル
五〇一 カイニンサウ マクリ
五〇二 ナノリソ ホダハラ
五〇三 ウミソウメン
五〇四 キャウノヒモ
五〇五 アヲサ
五〇六 水綿ノ説 三重縣産水綿ニ付 津田仙ハ答 明治十二年五月
五〇七 和歌山縣下水綿
五〇八 アヲサ アヲノリ
五〇九 イトアヲサ
五一〇 クモガシラ
五一一 フナゴケ
五一二 マツモ
五一三 ツルモ
五一四 シラモ
五一五 アマモ 明治十二年十一月
五一六 モシホ アマモ 大葉藻
五一七 ウケウトモ
五一八 ナガモク及ヲキツノリ
五一九 スイサウ、カイサウノ別
五二〇 ナゴヤ
五二一 トリノアシ
五二二 日本藻類名称
五二三 日本藻類分科

東京大学総合図書館

物產寶庫甲ノ七

菓物類

五二四 ザロンバイ

五二五 カンウメ 又常住梅

五二六 野生桃ノ話

五二七 ツバクロモヽノ說

五二八 重瓣洒紅桃花 明治十一年四月

五二九 ボタンキヤウ

五三〇 サモヽ 駿河

五三一 スモヽ

五三二 武州忍ノ李 明治十一年九月

五三三 ウラベニスモヽ 明治十一年八月

五三四 御黃李、嘉慶李 明治十四年十月

五三五 種ナし梨 明治十二年十二月

五三六 マルメロ

五三七 林檎奇株 青森縣津軽郡 明治十七年十月

五三八 リンキ、ヤマナし、ヤマカイドウ 明治十七年十月

五三九 スナし

五四〇 タウビハ 明治十七年十二月
五四一 枇杷苗 明治十二年十一月
五四二 柿ノ実ノ落ルヲ防ク法 明治十年九月
五四三 甘柿ニ渋味ヲ残スノ説 明治十一年九月
五四四 柿ノ名称
五四五 柳樹一種ノ果実
五四六 曽我柿 明治十一年八月
五四七 信州ノ黒柿 明治十年九月
五四八 無花果 明治十一年七月
五四九 楊梅ノ効用 明治十一年六月
五五〇 ヤマグミ
五五一 クハノハイチゴ
五五二 ナハシロイチゴ
五五三 トチバイチゴ
五五四 サコンノタチバナ
五五五 雲州ミカン
五五六 土佐唐蜜柑 明治十七年六月
五五七 唐蜜柑ノ説 高知縣勸業月報卅ノ
五五八 アカミカン 朱柑
五五九 ベニミカン 朱柑 明治十一年十二月
五六〇 宮島氏ノタウミカン 明治十四年十一月
五六一 中島蜜柑 長崎
五六二 ヲレンジノ種類 明治十三年十一月
五六三 本邦産ヲレンジノ説 明治十五年十一月
五六四 タウクネンボ 明治十四年十一月
五六五 コドンクネンボ
五六六 アマダイダイ
五六七 ナツダイダイ
五六八 伊豆ノ臭橙 明治十四年十一月
五六九 ウチムラサキ
五七〇 大分縣砂糖漬枸櫞 十四年十一月
五七一 檸檬ト枸櫞ノ比較 明治十一年六月
五七二 檸檬油ノ製煉法
五七三 キノスノ説 肥前佐賀 明治十一年十一月
五七四 肥前産木ノ酢ノ評
五七五 サンスノ説
五七六 クハクハツガユノ説
五七七 ムベノ説
五七八 椰子滋養分ノ有無
五七九 菓物代價書

五八〇 胡桃ノ花葉ヲ乞フ照會書

五八一 菓菜糖藏法

五八二 柚ビシ 明治十四年八月

物産寶庫甲ノ八

木竹類

五八三 カツラノ説 明治十一年八月

五八四 タニグハ外一種質問ノ答

五八五 タウセンダンノ説 明治十五年五月

五八六 イヽギリ下種法 明治十三年十一月

五八七 オホセンダンノ説 明治十五年十一月

五八八 チャンチン 明治十三年十一月

五八九 チャンチン材其他材ノ効用 明治十三年十二月

五九〇 ケンポナシ

五九一 下野産ノ葉樹根塊 明治十七年十一月

五九二 菩提樹子念珠ノ事 明治十一年五月

五九三 梧桐ヲ並木ニ植ル経驗 明治十一年八月

五九四 ヒヨンノキノ説

五九五 ミヅキノ説

五九六 ヨヽギ 明治十五年八月

五九七 黄楊 明治十三年八月

五九八 欅材養護ノ上申ノ書写

五九九 槻ノ説
六〇〇 愛知縣博覧会列品槻杢板 明治十三年五月
六〇一 ウバメガシ
六〇二 ブナノキノ説
六〇三 ブナ培養等ノ方法
六〇四 厚浮皮剥製法 明治十一年九月
六〇五 厚浮皮剥製方傳習并苗木購求ノ義上申書
六〇六 樹綿
六〇七 ワタノキノ説 明治十二年十月
六〇八 秋田産カドロ及ヤスモトヤナギノ説
六〇九 欅抱ノ種類 明治十二年八月
六一〇 長崎縣下綿楠等ノ説 明治十三年五月
六一一 コメヤナギノ説 カハヤナギ
六一二 イハヤナギノ説 明治十三年四月
六一三 大坂堂島楊ノ説
六一四 ノブノキ
六一五 島根縣下ノブ樹ノ皮
六一六 サハグルミノ説
六一七 丸葉柳 新聞抜萃
六一八 ズミ材ニ付書翰 岩崎藤吉
六一九 針葉濶葉ノ樹名 明治十三年七月
六二〇 五葉松ノ事 明治十三年一月
六二一 箱根山ニ松ノナキ話 明治十三年八月
六二二 松花ノ説 明治十一年五月
六二三 黒赤二松ノ間アヒクロ、アヒアカノ説
六二四 モドウ松ノ説 明治十七年六月
六二五 鹿島ノ松
六二六 日本松栢名
六二七 金松ノ説 明治十五年七月
六二八 トガ、ツガノ説及ツガノ事ニ付依頼書 明治十一年九月
六二九 バラモミノ説 明治十一年八月
六三〇 日光山ニシラモミノ説
六三一 伊勢多気郡大杉村大杉ノ説
六三二 アヤスギ 筑前香椎宮神木 明治十四年六月
六三三 クロベスギノ説 明治十四年四月
六三四 ヒムロノ説及藤田克三依頼書 明治十三年五月
六三五 カマクラヒバノ説 明治十四年二月
六三六 薩摩ノ材木
六三七 東京ニテ杖ヲ製スル原材表
六三八 地理局試験場見聞録 明治十二年四月

東京大学総合図書館

六五九 埋木ノ説

六六〇 影木ノ説 明治十二年七月

六六一 用材強弱表 明治廿七年十一月

六六二 用材種類 建築、薪炭、鏇器 箱函器物等ノ用材

六六三 竹實ノ説 明治十一年九月

六六四 新竹蜂ヲ生ズル説

六六五 竹ノ肥料 明治十五年一月

物産寶庫甲ノ九

落葉樹

六六六 コブシノ説

六六七 シデコブシ

六六八 烏藥ノ説 明治十六年九月

六六九 ウシグミ

六七〇 アヲハダ

六七一 鼠李 明治三年七月

六七二 イロハモミヂノ説

六七三 アヲカヅラノ説

六七四 ニカキノ説

六七五 コデマリノ説

六七六 櫻

六七七 吉野サクラノ説

六七八 シマザクラノ説

六七九 バラノ名称及培養法

六八〇 ムメザキウツギノ説

六八一 ヤブサンザシノ説

六六二 イヨミヅキノ説
六六三 ミヤマシグレノ説
六六四 黄花ノウグヒスカグラ
六六五 チシヤノキ、カホチシヤノキ
六六六 マルハチシヤノキ
六六七 チシヤノキノ説 筑前 松揚 明治十[illegible]年[illegible]月
六六八 ハクウンボクノ説
六六九 アクシバノ説
六七〇 クロマメノキノ説
六七一 フウリンツゲノ説
六七二 ヤウラクドウダンノ説
六七三 テウジツヽジノ説
六七四 レンゲウノ説
六七五 ナツワウバイノ説
六七六 クサギノ説 一名臭梧桐 明治十一年五月
六七七 カンコノキノ説
六七八 芫花

常緑樹

六七九 樒
六八〇 大茴香ト莽草ノ辨
六八一 ミヤマシキミ
六八二 サカキノ説
六八三 シマツバキノ説 駿河産
六八四 シマツバキ 八丈島産
六八五 カタザクラ 明治十一年九月
六八六 シナノキノ説 明治八年七月
六八七 イヌモチノ一種
六八八 タウミヅキノ考
六八九 フクラモチ
六九〇 四季咲木犀 明治十五年[illegible]月
六九一 躑躅花ノ説
六九二 イタヒノ説 明治十八年十二月
六九三 山礬 明治十[illegible]年八月
六九四 ユズリハノ説
六九五 四維梭ノ説 明治十[illegible]年[illegible]月
六九六 金山竹

六九七 織田賢司氏献納竹幹輪截及小枝

六九八 ブンゴザヽノ説 明治十四年四月

六九九 羽扇竹ノ説

七〇〇 雲斑竹ノ説 日向産

七〇一 斑竹ノ説 鳴門氏ノ説

七〇二 マガリダケノ説 明治十一年九月

七〇三 人工四方竹 明治十一年八月

物産寳庫甲ノ十

観賞物

七〇四 ヒメイチゲサウ

七〇五 サバノオ

七〇六 ヤマハタザホ

七〇七 チウゼンジナ

七〇八 スモトリハナ

七〇九 ウラベニスミレ

七一〇 白花ツボスミレ

七一一 梅花スミレ

七一二 ニホヒスミレ 明治十一年八月

七一三 香ヒ菫々菜

七一四 タガソテサウ

七一五 ワチカイサウ

七一六 蕒蕒蛇葡萄紫葛三種ノ辨

七一七 ミヅヲトギリ

七一八 ワシビユ

七一九 象豆

東京大学総合図書館

七二〇 玫瑰花ノ說
七二一 タキナノ說
七二二 ヅタヤクヒノ說
七二三 サヽバノボタンノ說
七二四 ヤナギサウノ說 明治十一年四月
七二五 ハリブキ
七二六 ツボクサノ說
七二七 鵞不食草ノ說 明治十一年一月
七二八 オホバノツルアリダウシ
七二九 車菜草 明治十一年七月
七三〇 ヨツバムグラ
七三一 ヒカナノ說
七三二 ハリカ子カヅラノ說
七三三 ツルコケモヽノ說 明治十一年五月
七三四 イハヒゲノ說
七三五 アカモノ 一名イハヽゼ
七三六 ツカザクラノ說 明治十四年一月
七三七 コメバノツガザクラ
七三八 ヒメシヤクナギ
七三九 ミ子ズハウ
七四〇 シヤクジヤウバナ
七四一 フキツメサウ
七四二 キクガラクサ
七四三 上野公園キクガラクサ
七四四 ハマウツボ
七四五 キムラタケノ說 冨士方言 明治十二年九月
七四六 ヨシノシヅカ アケボノサウ
七四七 ヤマトウチハ
七四八 テイカヽヅラ
七四九 ユキワリコザクラ
七五〇 ミヤマコナスビ
七五一 ヒメナヘ
七五二 ウクイスサウ
七五三 ダンギク
七五四 イトカケサウ
七五五 テンニンサウ
七五六 ガンカウラン
七五七 キンシカウラン
七五八 シヽンラン
七五九 ヤマタウガラシ 新聞卅

七六〇	山珊瑚	明治十四年五月
七六一	マヒヅルサウノ説	
七六二	書帯草ノ説	明治十三年十二月
七六三	イタヤユリ	
七六四	ヤマユリ	
七六五	ヤブカハユリ	明治十四年十月
七六六	コノユリ	
七六七	黒姫百合	明治十三年十月
七六八	スゲユリ	
七六九	百合ノ名称	内山長太郎
七七〇	百合種類	獨逸人パール氏ヨリ請求
七七一	ハルユリ	貝母
七七二	八重水仙	明治十四年十一月
七七三	ナガハノノギラン	
七七四	芒ノ説	
七七五	萩ノ説	
七七六	芒萩ノ差異	
七七七	シマスヽキ又シマガヤノ説	
七七八	クサソテツノ説	
七七九	アキノハナワラビノ説	
七八〇	クモノスシダ	
七八一	羊歯分科名彙	明治[illegible]年十一月
七八二	アスヒカツラノ説	
七八三	シカノツノゴケ	
七八四	園藝草木名称	
七八五	菊栽培法	
七八六	盆栽物及石ノ概説	
七八七	米国博覧会出品庭木價書	
七八八	牡丹下種法	明治十四年四月
七八九	ルリハコベノ説	外国ヨノ二九九ニアリ

物産寶庫甲ノ十一

植物雜部

七八九 東京地方宿根越年草ノ取調書
七九〇 伊香保ノ草
七九一 菊咲ノ小草 ハヽコモドキ
七九二 熱海逗留中見聞草木類 明治十二年四月
七九三 枯枝ノ傳着セル樹 明治十四年二月
七九四 菩多尼訶経
七九五 植物ニ新名ヲ定ル例
七九六 須次例
七九七 種子苗芽時限并内花時花鐘表
七九八 ルードン氏林氏綱目書ノ符合
七九九 採薬建言
八〇〇 細葉ノ草ハ太陽ヲ畏レヌ話 明治十四年十二月
八〇一 佐野氏邸内ケンポナシ等ノ説
八〇二 観菊會ノ記 明治十八年十一月
八〇三 上野公園内キクラゲゴケ等ノ説 明治十五年五月
八〇四 山生ノ棄葉ハ養蚕ニ害アル説

- 八五 温知會見聞釣鐘花等ノ録 （明治十[illegible]年[illegible]月）
- 八七 甘雨亭叢書中櫻綿種等
- 八九 長崎縣下植物ノ説
- 八二 花戸巡回採集目録
- 八三 長野縣下水作及水作麦ノ[illegible] （明治十[illegible]年[illegible]月）
- 八五 擬ニ生ズル菌類ノ説 （明治十一年四月）
- 八七 日本産莨菪ノ根分析
- 八九 豆腐乳及唐豆腐ノ法
- 八六 温知会見聞イトキンパウケ等ノ録
- 八八 長崎縣下巡回中植物ニ付田中芳男意見 （明治十一年一月）
- 八〇 教育博物館ニ於ル花實放大模造ノ物名
- 八二 種植接挿ノ期節表
- 八四 土窖早種栽培記
- 八六 暖皮ノ説 （明治十[illegible]年[illegible]月）
- 八八 羊羹製法
- 八〇 菓子製教草

物産寶庫甲ノ十二

植物雑部

- 八二 浅見ヨリ穀菜耕作法及農業雑事質問ノ答
- 八三 カラバル蚕豆外植物ノ答
- 八五 獨逸公使ヨリ穀類等ニ付問合及答 （明治十一年十月）
- 八七 洋人農学教師ヨリ有用植物ニ付質問
- 八九 獨逸公使館員ヨリ人参ヨヒヤウ木ニ付問
- 八三 水谷忍ヨリ植物名質問
- 八三 武田昌次ヨリ質問ノ答
- 八五 亀谷直孝ヨリ植物名ニ付質問 （明治十一年七月）
- 八三 大阪三角有儀ヨリ植物ノ質問及答
- 八四 日本農会ヨリ天降子実ニ付質問
- 八六 佐澤太郎ヨリ植物ニ付質問
- 八八 島根縣ムカゴニンジン質問及答并ムカゴニンジン御種ニンジンノ解 （明治十一年四月）
- 八〇 平野栄ヨリ内国博覧会出品解説物品ニ付質問 （明治十一年四月）
- 八三 伊藤圭介ヨリ支那種椿発生ニ付問
- 八四 植物ニ付山林局質問ノ答
- 八六 佐竹芳三ヨリ植物名ニ付質問

八三七	加藤義質ヨリ博物圖第一全葉ノ形中ニ付質問
八三八	多賀春城ヨリ美花及果樹ニ付質問
八三九	ペートルヲリイ松樅油ニ付質問ノ答　明治　年十一月
八四〇	英人チャンベレン氏草木ニ付質問ノ答
八四一	地理局質問植物中讀得タル品名
八四二	籾糠藥種ニ効用ノ有無質問
八四三	アケビ、カモウリ菱等ノ品書
八四四	樹木ニ付答書　明治　年十月
八四五	道路並木ノ説　明治　年　月
八四六	林樹並行樹ノ説　明治　年五月
八四七	森林ヲ仕立ルヿ
八四八	苗木仕立及植付方法
八四九	山林ノ大眼目ヲ論ス
八五〇	片山直人木材ノ説
八五一	木曾山ノ傳聞
八五二	緒方道平所有山林書ノ抜萃
八五三	樹名對譯
八五四	名倉卿内果物ニ付書翰
八五五	横須賀造船所佐波一郎ヨリ借入松柏書目
八五六	駒場野藥園ノヿ
八五七	駒場野藥園藥草當時有高調
八五八	藥商日誌及法則書抜譯

物産寶庫甲ノ十三

植物雜部

八五九 勸業寮園中自生草木目録

八六〇 含翠園物産会ヘ差出タル蔬菜果實目録

八六一 墺國行種子目録

八六二 爪哇本草園ヨリ依頼日本植物種子目録

八六三 草木及果實目録

八六四 茨城、岡山両縣ヘ貸与各用植物目録

八六五 島根縣行植物目録

八六六 長崎縣ヘ依頼シタル植物名 明治十二年八月

八六七 果物類目録

八六八 集杖目録

八六九 明治十年内國博覧会ヨリ引継植物目録

八七〇 米國博覧会ノ節来ル有用植物目録

八七一 墺國博覧会ノ節採集各地草木目録

八七二 米國博覧會間ヘ植木目録

八七三 米國輸送腊葉目録

八七四 信州地方採集植物目録

八七五 筧氏越後ヨリ携帯草木目録

八七六 筧正明駿甲相三州出張帰京ノ時携帯スル植物目録

八七七 薩摩国松岡栄吉ヨリ町田大丞方ヘ来ル物品目録

八七八 岡毅携帯日向淡島産植物腊葉目録

八七九 服部小平郎献納腊葉及木皮目録

八八〇 狩野良信畫草木写生目録

八八一 日光産腊葉目録 勧農局質問之分

八八二 日光植物採集目録 （明治七年九月）

八八三 小石川薬園廻シ日光諸山草木目録

八八四 越後國産植物腊葉目録

八八五 青森縣津軽郡産樹木腊葉目録

八八六 大坂三角有儀ヨリ来ル植物目録

八八七 明治八年宮内省ヘ差出ス植物目録

八八八 油類、染草類、薬草類等目録

八八九 海老屋長蔵ヨリ買上植物目録

八九〇 薬園ヨリ来ル植物目録

八九一 植物ニ付津田仙書翰

物産寳庫甲ノ十四

鑛物類

八九二 金剛石ノ説 （[illegible]）

八九三 黄硫鐵鑛 （明治十一年二月）

八九四 金鑛 （明治十四年二月）

八九五 井中ヨリ得シ金銀ノ説

八九六 銅鉛ノ人身ニ害アルノ略説 （明治十一年二月）

八九七 石灰 西遊雑記抄

八九八 石炭分析表

八九九 泥炭ノ説

九〇〇 筑摩縣下石綿ニ付依頼及答

九〇一 石綿ノ説

九〇二 石綿ノ功用

九〇三 燧石

九〇四 島根縣下雲母鉄鑛性質問ノ答

九〇五 浮石ノ説 （明治十一年十一月）

九〇六 石灰ノ説 （明治十二年八月）

九〇七 透明衡灰石 大分縣産 （明治十一年十一月）

東京大学総合図書館

九〇八 石乳
九〇九 伊勢産水石
九一〇 石膏ノ効用
九一一 石膏粉製造及功用説 明治十二年二月
九一二 雪花石膏ノ説
九一三 甲州産白石、信州産石炭
九一四 白石及石灰ノ説
九一五 蛋白石
九一六 鴨川石
九一七 カナボ石、小来石ノ産地用方
九一八 青森縣屬平井臣親献納鑛物ノ答
九一九 アラキダッチ
九二〇 肥料用砂土
九二一 石脳油ノ効用
九二二 非金属、軽金属、重金属ノ表
九二三 熊野新宮、津軽産其他鑛石等納品目録
九二四 化石堀出シノヶ所
九二五 砒石驗製法
九二六 砥石ノ名称
九二七 河内國廃陵地ヨリ堀出セシ古石
九二八 クラマ藏本化石図彙卅ノ写 象歯化石 天狗ノ爪石ノ図
九二九 日光山等ノ産柱石
九三〇 セメント灰石産出ノ場所等ヲ依頼書
九三一 岡田六藏来書石炭等ノ事

物産寶庫甲ノ十五

庶雑ノ一

- 九三二 日光産物目録
- 九三三 紀州産物目録 紀伊国名所図会抜萃
- 九三四 石川縣物産目録 縣治一覧表抜萃
- 九三五 石川縣下富山町展覧会列品目録抜萃
- 九三六 諸國土産名物抜書
- 九三七 愛知博物館ヘ寄附品説明書 明治十三年八月
- 九三八 長田銈太郎頼佛語物名譯 明治十一年九月
- 九三九 佛書ヘ一トルノ説抜冊
- 九四〇 英国植物学士邉撒讃傳
- 九四一 物産家小傳
- 九四二 生物總論 中外雑誌抜萃
- 九四三 富岳記行譯
- 九四四 遡遊従之
- 九四五 篁庵曲直瀬君墓碑銘

物産寳庫甲ノ十六

庶雜ノ二

九四六 日本産物輸出品抜萃
九四七 大水除雨合羽
九四八 麻布新開田ノ藁其他ノ事
九四九 蠟燭ノ説
九五〇 人工海水製方
九五一 肥料見本目録
九五二 土中ニ埋没セシ丸木船ノ話
九五三 魚病ヲ治スル法
九五四 延喜年中下總國税式
九五五 備前往来
九五六 内國博覧會出品解説 孔雀押繪額 其他數種
九五七 作州津山殖産ノ話 明治十二年七月
九五八 名古屋城天守ノ金鴟尾造營ノ原由
九五九 大日本幅員
九六〇 スミソニヤン會社ヨリノ来翰訳
九六一 欧羅巴人物模造人名書

九六二	賀来飛霞氏伊藤氏ヘ贈書ノ抜稿
九六三	見聞筆記
九六四	武田注告植物書題号
九六五	畔田伴存著書所有主ノ事
九六六	賀来睦之著述草稿目録
九六七	秘術聚成書目録
九六八	新刻書籍ノ内買上ベキ書目
九六九	丸屋洋書目録
九七〇	翻訳局ヨリ受取書籍目録
九七一	衆芳軒所蔵府県志抜萃目録
九七二	柿梧板木覚書
九七三	カド石、サガメ等ノ説
九七四	信州木曽出張小林常賀ヘ命令状
九七五	木曽櫻沢出張ニ於テ上申書
九七六	総房出張員ヘ注告ノヿ 明治七年七月
九七七	草木図説目録緒言
九七八	博物館ニ不足ノ洋籍書目
九七九	武田昌次支那行ニ於テ買上書目及種子等目録
九八〇	曷沃島ノ義ニ付岡毅手翰
九八一	伊藤篤太郎氏標品等ニ付質問
九八二	伊藤篤太郎氏書面ニ於テ標花龍胆ノ説
九八三	廣東産柑子云々書

物産寶庫甲ノ十七

小笠原島

動物

九八五 大蝙蝠ノ説 明治十一年十二月

九八六 大蝙蝠ニ付新聞案 明治十一年十二月

九八七 メジロノ説 明治十一年十一月

九八八 蠵亀ノ説 明治十一年七月

九八九 蟹螯ノ説 明治十二年七月

九九〇 車渠ノ區別 明治十二年七月

九九一 アサガホガヒノ説 明治十二年八月

九九二 大鎖管ノ説 明治十一年七月

九九三 クモガヒ、クロハト等動物ノ話 明治十三年十一月

九九四 動物ノ説 明治十一年六月

植物

九九五 レモンノ説 明治十一年七月

九九六 南菓 明治十四年七月

九七 ノヤシヌノバセヲノ説 明治十二年十二月
九八 椰樹ノ説 明治十三年十一月
九九 タコノキノ説 明治十一年三月
一〇〇 ゴムノキ葉 明治十一年十月
一〇一 蒲葵ノ説 明治十三年十二月
一〇二 黄槿ノ説 明治十三年八月
一〇三 ハスノハギリノ説 明治十二年十月
一〇四 バラヤビーンノ説 明治十二年十二月
一〇五 クハノウモレギノ説 明治十二年五月
一〇六 キクラゲノ説
一〇七 米國海島草綿試植ノ説 明治十一年五月
一〇八 ヒマ井ノ説 明治十一年五月
一〇九 藺草 福井為吉ノ話
一一〇 甘蔗ノ説 明治十一年七月
一一一 玉蜀黍ノ説 明治十一年九月
一一二 アカワク子ノ説 明治十二年十二月
一一三 瓢形番南瓜 明治十一年十一月
一一四 栗ビロウ杉貝他植物ノ話 明治十三年十一月
一一五 木材ノ話 明治十四年二月
一一六 草木ノ種類
一一七 島蘭外八種ノ説
一一八 小笠原島ニ有用植物栽培着手之義伺
一一九 小花書記官ヨリマツト文他ノ品贈輸ノ目録
一二〇 パインアップル繊ノ説

沖縄

動物

一二一 西表島産亀ノ説 明治十六年九月
一二二 ヤマガメノ説
一二三 瑇瑁ノ記
一二四 八重山海参ノ説 明治十五年十一月
一二五 海綿 明治十四年十一月

植物

東京大学総合図書館

一〇二六 魚木
一〇二七 ボテウジノキノ説 明治十一年十月
一〇二八 タカツク
一〇二九 赤木
一〇三〇 カマウド
一〇三一 ヒロキノ皮ノ説 明治十五年一月
一〇三二 モガミノ説
一〇三三 イジユ木ノ説
一〇三四 チーキノ説
一〇三五 蘇鉄子ノ説 明治十四年二月
一〇三六 ヤラボノ説 明治十一年五月
一〇三七 芭蕉ノ説 明治十三年八月
一〇三八 琉球産有用植物ノ説 明治十一年七月
一〇三九 腊葉、種子、木材目録 在琉球河原田盛美ヨリ送達
一〇四〇 沖縄縣植物、繁殖見込書
一〇四一 腊葉名称及採集地等調書
一〇四二 藤田克三ヨリ領沖縄木材ノ記

雑部

一〇四三 管内物産ノ内博覧会出品ノ義ニ付問合書
一〇四四 琉球物産報告

北海道

動物

一〇四五 エトロフ産鮭ノ説 明治十三年十月
一〇四六 鮭病治療ノ景況
一〇四七 トナカヒノ説
一〇四八 膃肭獣ノ説
一〇四九 杉孫七郎献納鶴児ノ説
一〇五〇 クマゲラノ説
一〇五一 テフザメノ説 明治十二年三月
一〇五二 紅鱒 明治十一年八月
一〇五三 ニシン
一〇五四 石决明 明治十四年十一月
一〇五五 鮭魚脊身ノ塩辛 明治十三年四月

植物

一〇五六 クロユリノ根

一〇五七 第百合産地

一〇五八 アハノ説 日高砂留郡産 明治十五年十二月

一〇五九 ヤマカラムシノ説 明治十二年十二月

一〇六〇 害草ノ義ニ付質問ノ答

一〇六一 胆振千歳両郡中砂原ニ叢生スル灌木葉子ノ義ニ付伺

一〇六二 ヤケモヽノ説

一〇六三 北海道木材目録

一〇六四 北海道艦材畧記

一〇六五 北海道産腊葉目録

一〇六六 東京芝開拓使支廳行紀園中盆栽植物類

一〇六七 エトロフノリ 明治十三年十二月

鑛物及雜部

一〇六八 後志國瀬棚産鑛物

一〇六九 花房書記官ヨリ化石質問ノ答 明治十三年四月

一〇七〇 蠹材化石ノ説 明治十三年四月

一〇七一 蝦夷地産物名

物産寶庫 甲ノ十八

清國

朝鮮 暹羅 仏哇等

動物

一〇七二	朝鮮國蔚陵島産野猫	
一〇七三	廈門製ブタタバコノ説	明治十二年七月
一〇七四	白鵞蒼鵞洋鴨卵ノ價格	
一〇七五	ハヽテウノ卵	明治十二年七月
一〇七六	燕窩ノ説	元治二年五月
一〇七七	清地産青魚外二種購入方	
一〇七八	支那産リユウキンノ説	
一〇七九	ヨツメクラゲノ説	
一〇八〇	清國黄蟬	
一〇八一	蝴蝶ノ説	

植物

一〇八二	甜桃楊	
一〇八三	人面子ノ説	明治十一年四月

一〇八四 廣東産柑子ノ説 明治十四年十一月

一〇八五 天津産水蜜桃傳来并成木結果、

一〇八六 柞木ノ説 明治十一年六月

一〇八七 柞及槲ノ説 明治十一年九月

一〇八八 野官蘭

一〇八九 天蠶繊ノ水ノ岡揭

一〇九〇 拓ノ説 明治十一年九月

一〇九一 白吉ノ説 明治十四年三月

一〇九二 麻黄ノ説

一〇九三 ヘルドフーヘル植物字書ノ麻黄 明治二年十一月

一〇九四 廣東香蘭 明治十二年十一月

一〇九五 香港香蘭 明治十四年一月

一〇九六 香蘭ノ洋名 明治十四年十一月

一〇九七 鶏蛋花 明治十一年八月

一〇九八 金針菜 明治十一年四月

一〇九九 菱ノ説抜萃

一一〇〇 支那蓮藕ノ説 明治十一年七月

一一〇一 朝鮮産刻煙草ノ評

一一〇二 干筍ノ説 明治十一年六月

一一〇三 上海水瓜ノ説 明治十三年五月

一一〇四 清國種長茄子并綠瓜 明治十一年九月

一一〇五 馬蹄粉ノ説 明治十六年八月

鑛物及雜部

一一〇六 郡青瑪瑙ノ説 明治十一年五月

一一〇七 朝鮮浮木ノ綽網 明治十一年八月

一一〇八 養鶏、養鴨、養鵝、養猪、養牛、養羊ノ法

一一〇九 支那物品目録

一一一〇 支那藥種五十品目録

一一一一 在支那武田昌次書簡

一一一二 廣東草木名称

一一一三 錫蘭産材品目録

一一一四 暹羅國輸贈産物目録

一一一五 武田昌次瓜哇印度派出御用済概畧上申書

一一一六 瓜哇ヨリ来ル種子

一一一七 横濱清商ノ所賣大紅桔

一一一八 瓜哇ヨリ注文品内未詳品

一一一九 瓜哇花実及美葉樹圖書目録 明治十一年八月

東京大学総合図書館

物産寶庫 甲ノ十九

西洋

動物

番号	題目	朱書
二一〇	マルモット考	慶応元年六月
二一一	博物館ヘ献納麝獸皮ノ説	
二一二	栗鼠	庚午 年十月
二一三	猫鼬ノ説	明治十一年三月
二一四	白露國鶏ノ説及餌飼、鶏卵法	
二一五	不可思議鳥	慶応四年六月
二一六	風鳥	明治十一年五月
二一七	ケリー	
二一八	咽機哆魚ノ説	明治十一年九月
二一九	米國ノ亀	明治十八年九月
二二〇	呀嘣虫ノ諸説	慶応四年四月
二二一	欧洲飛蝗畧記	
二二二	墺地利以太利蚕卵説	
二二三	伊太里蜜蜂ノ説	

二三四 魯領止百里地方産審攷

二三五 ヤールオーゴル嘴 年月

雑件

二三六 石塩 明治十三年十二月

二三七 在孛國松野硐樹木ノ説

二三八 李子ニテ砂糖煉ヲ作ル法

二三九 免病林檎樹ケテールワン書翰

二四〇 大阪三角ヨリジマチランジ質問 明治十二年九月

二四一 欧州香料用物品目録

二四二 條約諸国産物誌略萬國名産誌

二四三 墺國維納小学校用諸元品及製成品目録

二四四 魯国北地産植物腊葉目録

二四五 濠州産植物目録

二四六 ガランジュールアン社ヨリ送レル麦類目録

物産寶庫甲ノ二十

西洋植物

二四七 マグノリヤ 明治十二年八月

二四八 リヽヨデンドロン 明治十六年九月

二四九 水芹菜ノ説 明治十六年六月

二五〇 ハボタンノ説 明治十二年八月

二五一 瑞典蕪菁 明治十二年六月

二五二 含生草 アンザンジユ

二五三 レセダ

二五四 ヲクロマ

二五五 兎耳草ノ説

二五六 阿利襪樹ノ説 明治十七年六月

二五七 阿利襪油等ノ説

二五八 ヲリーブ樹培養法

二五九 阿利襪ト撒欖及瞻蔔八樹辨

二六〇 土茶説

二六一 癒瘡水 明治十二年五月

二六二 文光果 明治十四年二月

二六三	雙翅果樹 明治十一年六月
二六四	圓実膽八樹 明治十一年五月
二六五	米國葡萄園養方
二六六	日耳曼製乾果
二六七	神樹及其蚕ノ説 明治十一年五月
二六八	チヤボエンドウ
二六九	エニレダノ説 明治十一年十月
二七〇	紅豆ノ説 明治十一年五月
二七一	獨揺草
二七二	栗豆樹 明治十二年四月
二七三	擬合歓 明治十一年九月
二七四	サ蘇方木
二七五	佛國種合歓樹 明治十一年四月
二七六	ハカマカツラ属
二七七	紅皮梨ノ説 明治十五年八月
二七八	早種ノ苹菓 明治十一年七月
二七九	黒剌李 明治十一年八月
二八〇	メトラル 明治十三年九月
二八一	傳線瓜ノ写圖
二八二	エウカリプトス 明治十一年七月
二八三	米國種食葉菜 スケルレト 明治十四年七月
二八四	瓜哇楓樹 明治十一年六月
二八五	ダンガラ
二八六	幾那ノ説 明治十一年五月
二八七	幾那樹ニ付新聞案
二八八	幾那樹培養略説
二八九	キナキナ 盆栽
二九〇	マンゴスタン 明治十七年七月
二九一	モンパノ毛茸ヲ起スノ剝求毛ノ説 明治十一年十月
二九二	サ逢ノ説
二九三	ダーリヤノ説
二九四	天竺牡丹
二九五	タナセトムノ説 明治十一年八月
二九六	トリスタニアノ説
二九七	ヤーラッパ 名物考抜萃 明治十一年七月
二九八	早種馬鈴薯ノ説 明治十五年七月
二九九	ルリハコベノ説
三〇〇	檸檬香馬鞭草
三〇一	プリッケリーゴムフレーノ説 明治十一年九月
三〇二	ベルバスキュム

東京大学総合図書館

三〇三	ベニギリサウノ説	明治十一年十月
三〇四	ラウレル	明治十一年四月
三〇五	アカレヤ樹	明治十二年十月
三〇六	サッサフラス	
三〇七	ホルトガル	
三〇八	ロットレラ、テンクトリヤ	
三〇九	烏木	
三一〇	トリユストノ土人製造リ花	
三一一	ヤトロバノ説	
三一二	シヤウジヤウボク	
三一三	紫青木	明治十四年十月
三一四	土人桃	明治十一年十一月
三一五	マンゴールト、ヲルジル	
三一六	蛇麻草ノ説	
三一七	キユルク木	
三一八	グランドヒノキ、グランドギヨクラン	明治十二年九月
三一九	省藤ノ説	十年十月
三二〇	象牙実	
三二一	象趾草	
三二二	ナギイカダノ説	
三二三	南海ノ土果核	明治十一年九月
三二四	イリスフロレチナ	
三二五	コルヒキユムノ説	
三二六	サフラン	明治七年十一月
三二七	新西蘭麻	
三二八	アマリス、ヴイタ、ノ説	
三二九	ヘイマンテユス	
三三〇	知母蘭	明治十一年十一月
三三一	八重月下香	明治十二年八月
三三二	ワープルートノ説	
三三三	アンペラ	
三三四	アンペラニ付半井栄ヘ答書	明治十七年四月
三三五	各種玉蜀黍	
三三六	シマタウモロコシ	明治十三年八月
三三七	アリユンドヾナキス	明治十四年十月
三三八	アロンドヾナキス	明治十四年十月
三三九	タケミソ	
三四〇	菌	
三四一	アガリクス、カンペストリス	
三四二	ボニヤボニヤノ説	明治十二年十一月

一三四三 法国物産学社第七号月刊冊ノ譯
新和蘭領ホルミウムテナス麻ノ了

物産寶庫乙ノ一

獸、鳥

一三四四 カハ子ヅミ 明治十五年十月
一三四五 ミヅ子ヅミ 武州西多摩郡辺方言
一三四六 アビカ
一三四七 真甲鯨ノ骨 明治十五年十一月
一三四八 鵝
一三四九 雞卵割畧説
一三五〇 カラクニ鳥ノ卵

魚、爬蟲、柔軟

一三五一 金魚養玩草
一三五二 紀州産ヒヽ魚 明治十五年十一月
一三五三 信州櫻沢産高山源黒魚
一三五四 アイ鮫ノ歯
一三五五 関沢明清養魚ノ建白
一三五六 ミノガメ

東京大学総合図書館

一三五七	陸亀、淡水亀ノ説
一三五八	蠵亀肉貯蔵法
一三五九	海膽ノ説及製法　明治十年八月
一三六〇	牡蛎養育法　明治十三年四月
	多節類
一三六一	毒蟲ノ説　明治十一年三月
一三六二	カヤキリ虫ニ付勧業課書状
一三六三	莎雞族ノ蟲
一三六四	蝗字ノ解　明治十一年八月
一三六五	蝗虫撲滅日誌　神奈川縣
一三六六	蝗蝻字考
一三六七	茨城縣蟲螽
一三六八	茨城神奈川両縣其他害蟲ノ圖
一三六九	鳴門義民虫害雜説　附録 復命書
	雜
一三七〇	玉川鵜飼遊記　明治九年十月
一三七一	岐阜縣美濃郡上産生糸製造ノ説
一三七二	信州採集動物目録
一三七三	明治八年一月園養動物表
一三七四	動物渡来年代等ノ記
一三七五	西京及度會縣博覧会ヘ差送リタル製造動物目録
一三七六	蚕事関渉物品目録
一三七七	寓木ノ圖

東京大学総合図書館

物産寶庫乙ノ二

木竹類

一三七八 菩提樹、ヒナノキノ別	一三七九 椿、樗ノ葉墨摺
一三八〇 ミヽズバイ、ヒウチノキ等ノ説	一三八一 刺楸ノ説
一三八二 津軽岩木川蠹材	一三八三 ミ子バリ其他墨摺葉
一三八四 樅類ノ説 明治十年十二月	一三八五 黄楊ノ説 明治十一年十一月
一三八六 黄楊葉ノ墨摺	一三八七 黄楊樹ニ付櫻井勉氏福岡縣令ノ書面
一三八八 ヒラビソ、ヒモヽ	一三八九 ヒトツバタゴ
一三九〇 鳥海山ノ松球 明治十四年十二月	一三九一 工用木材ノ品名
一三九二 鞣用樹皮一覧解説	一三九三 相川縣水損村ヨリ発見セシ古木

東京大学総合図書館

一二九四 木材学鑑品ノ辨
一二九五 亜木ノ説 明治八年 緒方道平述[?]
一二九六 山林制方法
一二九七 諸竹栽培法
一二九八 皺竹[?]、斑竹ノ説

製紙

一二九九 櫻楮 神奈川縣方言
一三〇〇 新潟縣ヲニレバリ

纖維

一三〇一 亜麻布 元治元年八月[?]
一三〇二 東印度出張梅浦精一度命書中ジウトノ説[?]
一三〇三 葛蔓花葉伐取時節
一三〇四 葛藤、小藤等ノ墨摺
一三〇五 金剛草
一三〇六 ナツボウズ
一三〇七 山カラムシ品質鑑別

油蠟

一三〇八 九州タブノ説
一三〇九 樟脳
一三一〇 村々漆取扱方觸書

清娯[?]

一三一一 マイラ茶ノ説 明治十一年四月
一三一二 イタヤノ説及カヘデ葉ノ墨摺 明治十二年五月

菓物

一三一三 唐蜜柑栽培法
一三一四 赤唐蜜柑ノ説
一三一五 レモン液貯藏法

藥草

一三一六 鴉片草ノ概畧

東京大学総合図書館

物産寶庫乙ノ三

植雜

一三一七 牛ノモト称スル草名ニ付岡山縣ヘ照会及同答

一三一八 ミロ子、ヒメミロ子ノ図及マツナギクノ説

三一九 三重縣ヘゟ互植物効用ノ答

一三二〇 樹名傍訓并質問及答 平野栄質問 明治十二年七月

一三二一 カラダモ、イタチアザミノ説

一三二二 サハダツ等ニ付伊藤氏書翰

一三二三 尾張アヲサギウリ等ノ事

一三二四 ミ、レデヨング氏キナ樹苗献上ノ義ニ付書面

一三二五 十和田大歟久〻南部産コメユリ及ホップニ付武田昌次書翰

一三二六 ハンクワイサウ、チヤウリヤウサウ等江戸ノ名称ノ問

一三二七 木曽山中ナダケノ事

一三二八 福木、磯藤等送付ゟ松栄書状

三二九 イナモリサウノ事

一三三〇 ブナノ実及ブナノ木ニ生スル菌ノ名称

一三三一 文久二年白山采薬ノ品名

一三三二 ヤマビワ等ノ産地

一三三三 カナリーサード播傳フル未本草考案	一三三四 信州方言イモナノ了
一三三五 格致叢書本草中抜萃白檀香	一三三六 ブリスバ子植物会社ヨリ菓樹種子 新製工ニテエフ、オ、アダムス書翰
一三三七 明治八年佐賀常民公渡之佛国郵便船長ヨリ依頼ノ品名	一三三八 群芳圃譜抜萃植物説
一三三九 安井真八郎質問植物名ノ答	一三四〇 群芳圃譜抜萃番薯全ノ説
一三四一 マツナギク、ユキタケノ了	

物産寶庫乙ノ四

植雑

一三四二 大和国中村直三稲苗試験表	一三四三 中村直三稲種目録
一三四四 讃岐国奈良専二農業得益辯	一三四五 土色口傳書
一三四六 農具目録	一三四七 京都府下肥料ノ事
一三四八 八農巴出張官心得書	一三四九 大和出張ノ節藍澱穿鑿ノ了
一三五〇 校訂植物自然分科表緒言 (明治八年十二月)	一三五一 植物調査出張使命書写
一三五二 シーボルド説質問本草	一三五三 博物館ニ関スルグバリー意見書
一三五四 天産科分轄	一三五五 明治十年内国博覧会列品解説兼説明類
一三五六 明治十年内国博覧会第五区賞与表	一三五七 内国博覧会第五区七類山畜備等追加

物産寶庫乙ノ五

産物誌及諸説類

一三五八 霧島草木誌

一三五九 八丈諸島産物集

一三六〇 日光山及近地草木説

一三六一 信州戸隠山ノ説 明治十一年十二月

一三六二 山梨縣地質取調書

一三六三 青森縣津軽官山現状略記

一三六四 沼田並近山産物名

一三六五 西遊稿抜萃 偃修叢書

物産寶庫乙ノ六

目録類

一三六六	佛英對名野菜目録
一三六七	澳国博覧会事務局ヨリ引継目録
一三六八	澳国ヨリ持帰リ農業山林部目録　明治八年七月
一三六九	澳国ヨリ持帰リ品目録
一三七〇	札幌博物場送附物品目録
一三七一	青森縣津軽産樹木腊葉目録
一三七二	青森縣ヨリ来ル植物等目録
一三七三	武田昌次布哇ヨリ携帰セル植物及種子目録
一三七四	武甲相州巡回中採拾品目録
一三七五	勧農局出板書目
一三七六	各縣ヘ分配セシ植物目録
一三七七	勧業寮ヨリ分与琉球産物目録及琉球物品目録等
一三七八	米国博覧会行諸品目録
一三七九	書籍目録
一三八〇	町田久成外二氏ヨリ献納書目録
一三八一	明治十年博物局盆栽各地ヘ送付ノ控

東京大学総合図書館

一三八二 小石川御薬園目録

物産寶庫 乙ノ七

明治十年内国博覧会
仝 十一年仏国博覧会 出品目録

一三八三 鑛物類解説及目録

一三八四 木材類額面并有用木材捷覧解説等

一三八五 有用植物類集及見本解説等

一三八六 有用動物類及見本解説等

一三八七 紅葉及年歯臘葉紙解説

一三八八 介蕈額解説

一三八九 動物学其他書籍類解説等

物産寶庫乙ノ八

庶雜

三九〇 武田昌次ヨリ支那産物送付ニ付添書及受取書

三九一 蜡蠋燭、電石等博物館ヘ献品願書

三九二 白露国鶏下渡ニ付請書

三九三 久保弘道米国持帰眼球ノ受取書

三九四 ボストヲーカル譲受ノ証

三九五 草取、根堀道具ニ付武田昌次氏ノ書状

三九六 カールノ図ニ付武田昌次氏書状

三九七 書籍ノ義ニ付武田氏ノ書状

三九八 漆器説外数品請取書

三九九 博物科ニ関スル書目、米国ヘ輸送品目外受取書類

四〇〇 久保弘道 小森信頼 信州巡回里数調

四〇一 本草図譜返償方ニ付問合

四〇二 豪国ヨリ贈進物ノ積代價書

四〇三 豪州行橋本正人持帰リ品目録及受取書等

四〇四 机椅ノ寸法ヲ定ルヿ

四〇五 焼物ヲ接ノ糊

一四〇六 木版ニ用フル材料

一四〇七 刷印集説

一四〇八 魚油ノカリヲ蝋ニスルコト

一四〇九 紡績機械購入費等概算

一四一〇 満川新三宛田中芳男氏外一名書面

一四一一 カーユン氏ヨリウアグネル氏ヘノ書簡

一四一二 装束色彙ノ覚書

一四一三 文祢麿墓誌

一四一四 明治六年生産概表

一四一五 伊藤篤太郎氏ヨリ祖父圭介氏ヘ贈ル信書中日本々草書ノ抜訳

一四一六 明治十五年小塩氏ニ依頼セシ植物和

一四一七 自生草ノ義ニ付津田仙書状

一四一八 佛人ヒユゴー子ット氏書簡

一四一九 尚書科目表

一四二〇 鮒答 一名劄答

一四二一 諸物品送付并添書其諸受取類

書畫寶庫目録

米庵蔵之印

東京大学総合図書館

東京大学総合図書館